

Valuable Clues for the TOEIC® Test

TOEIC® テスト 実践と徹底解説

Miles Craven Mitsuyasu Miyazaki

 **SEIBIDO**

はじめに

ここに到って、と言いながら、冒頭なのですが——〈はじめに〉などは、原稿を書き、編集者といっしょに議論しながら校正をして、校正もこれで終わりというとき、遙けくも辿りつけるかなと、ひと安心したところに、改めて、「では」と言って書くものです。冒頭だからといって最初に書けば、大風呂敷を広げかねません。そうここで、ふと、書き出そうとすると、もう全部吐き出してしまっていて、“何を書けばいい?”と頭は空っぽになっています。そこへ、台所の破れ穴から、“Out with it, out with it.”(「言っちゃえ、言っちゃえ」)という小動物の声が聞こえてきます。「何を書けばいい?」と言うと、“About yourself.”と聞こえてくるのです。

そうです。書くという行為は自白行為なのです。体よく言えば、自己表現だと思えます。よくも自分のことを纏綿として綴ってきたものです。だとすれば、誰に宛てて? 胸の奥に相手があったのです。どうもそれを絶えず意識して筆を進めていたようです。すでに、コミュニケーションはそこで始まっていたわけです。

いきなりですが、最近、TOEIC® テストのスコアだけが先行していて、スコアが示す、英語で実践可能なことどもは上の空のようです。英語が得意・不得意、好き・嫌いを抜きに、世の中は TOEIC テストへ靡いています。多くの人がテストをきっかけに、英語の勉強をすることは好ましいことです。が、目標は、いかにハイスコアを獲得するかに終始している様子です。だとすると、英語の受験勉強の再来にしかありません。

どうやら、胸の奥にいた相手とは、あなたのようなのです。これから TOEIC テストを受験してみようかと考えている人(授業でやるので受験する人を含んで)、テストには馴染んでいるが少しも晴れがましいことがないと思っている人です。このような人には、「TOEIC テストはスコアのためにあるのではない」と、出発点のところできっぱり言わなければなりません。テストというヴァーチャル・コミュニケーションの一端を体験しながら、アクチュアルな自分の英語力を、地に足が着いたもの、本物の英語力に磨き上げるほうへ向かわせなければなりません。考えてみましょう。TOEIC のハイスコアより、自分の英語が通じたとき、相手の言っていることがわかって、それに対応できたときの、うれしさや楽しさの方が大きいのではないのでしょうか。

ボストンの Logan 空港へ行く乗り合いタクシーに乗っていました。友人のアメリカ人が西海岸にしばらく行くので、見送りに出かけるところでした。その日は折しも頭痛がして、出張で来たと思われる同乗者のカナダ人2人と友人との会話に参加する気もなく、窓ガラスに頭を当て、外の景色を見ながら彼らの会話を小耳に挟んでいました。空港に着くと、友人は、「飛行機に間に合わないからじゃあ」と人混みに消えるように、立ち去ろうとしました。「これバッグ」と言って渡そうとすると、

「それ自分のじゃない」

えっ、とするとあのカナダ人の?! それを無視する友人はもはや旅の空です。タクシーの中での会話がよみがえってきました。「5時のケベック便」と言っていたようです。あわてて走り出して、国内線ターミナルの人混みをかき分け、探し出そうとしていました。そのとき、数日前に着いたばかりの旅人は Logan 空港にはあちこちにターミナルビルがあることなどに気づいていませんでした。あと、20分足らずで5時。どうしよう。気がつくと、ターミナル内の係員をつかまえて尋ねていました。自分でどんな英語を使ったのか思い出せません。すると係員は、

「ケベックならターミナル E ですよ」

「どう行けば?」(と日本語の響きだけ覚えています)

「外に出て、7番あるいは8番のバスに乗るのです」

(まさか!)

「無料ですよ」

「すいませんでした」

走りながら聞いているのです。外に出てみると、バスが他の車に混じって走っています。5時は刻々と近づきます。思う番号がなかなか来ません。1台やっと来たのですが、それはどうもターミナル E 行きではなく、ターミナル E 経由らしいのです。大きなバスの小柄な女性の運転手さんに尋ねていました。

「ターミナル E に行きますね？」

「ええ、行きますよ」

「着いたら降ろしてくださいね」

何語で話しているのか感覚がないのです。言葉だけが飛び交う感じでした。そこまでが発覚からたったの10分くらいでした。うまくバスから降りると、乗合タクシーに乗っていたカナダ人が2人、人待ち顔で、ターミナル E 前のベンチに腰掛けていました。

「よかった間に合った」

「タクシーの運転手が持って来てくれると言ってたのですが、あれ……」

「タクシーの中での会話が聞こえてたんです」

「のようでしたね」

「さあ、行ってください、間に合いますね」

「よかった、助かった、ありがとう、これは名刺」

2人はターミナル E の中に消えていきました。ほっとして体から力が抜けるのを感じながら、自分に戻りました。無我夢中だったので、英語は無意識のうちに話し、無意識のうちに聞き取っていたのです。なんだか、いきなりボストンの町が身近に感じられ、市中へ帰るのに、ちょうどいいバスがなかったのも、タクシーをはずみました。すると、もう長年、ボストンに住んでいるかのように、タクシーの運転手さんと胸張って話しているのです、英語で。しつこい頭痛も消えていました。

小動物のささやきは正しかった。ここには、コミュニケーションに関することがたくさん含まれています。それはこのテキストでおいおい学んでいくとして、こんなとき、あなたならどうしますか？ 大切なバッグを放ったらかしにしてしまいますか？ 人を探してその人に押しつけますか？ コミュニケーションですが、学ぶと言葉が使えること、また、それに伴う感情——ここでは不安と喜び——が実際にあることが驚きになります。TOEIC のハイスコアで喜ぶだけではもったいない。しかし、いまこうして思い起こしてみると、そのことは、まさしく、TOEIC テストを地で行っていたような気がします。時間にせかされながら無我夢中になると、ことはうまく収まるものかと。だったら、TOEIC テストも……。

このテキストが生まれるために、いろいろな人が表立たないところで大きな力となってくださっています。そのことを認めない限り、このテキストをみなさんと今こうして、共有することはできなかったでしょう。Miles Craven の素晴らしい仕事も日の目を見ることはなかったでしょう。格好の材料が鎮座ましますから、筆者に書かないかと声をかけてくださった、株式会社成美堂社長の佐野英一郎氏へ感謝の気持ちを表したいと思います。スパンスパンと原稿の蛇足を落として端正にくださった編集の工藤隆志氏へねぎらいと感謝の気持ちを表したいと思います。お名前を挙げるときがありません。しかし、数多くの人が筆者を支えて助ましてくださりました。こういう形でしか申し訳ありませんが、感謝の気持ちを表させてください。ありがとうございました。

2013年9月

宮崎 充保

本書の特色

以下の5点に絞られます――

■ TOEIC® テストのための本格的なテキストです。

TOEIC テストは教室では、コミュニケーション学習の材料としてお手軽に使われます。授業の最初 20 分や 30 分を利用して、それで、コミュニケーションの一端をのぞくのです。このテキストはどっぷりと TOEIC テストに浸かって本格的に TOEIC テストを通してコミュニケーション力をつけようと志す学習者のために作られています。

■ TOEIC® テスト教材を用いて、練習をたくさんするように心がけました。

量は質を決めると言います。頭だけで TOEIC テストをわかってほしい、そして、それでハイスコアをねらおうという風潮があります。これでもか、これでもかと言いたくなるほどの練習や練習問題を通して、体に TOEIC テストを刻み込みましょう。すると、それ自身がコミュニケーションの練習をしていることになるのです。

―学習は自分でわかったと思わなければ成立しません。そのために自分で学習しているときのことを考えると、「わかった!」と言えるときが学習の成立であり、最終です。初めは何をしているのかわからないことがあります。いつも、何を求めて目下のことをしているのかを考えてみてください。それが学習そのものなのです。

―普通のテキストとは異なった記述法をとっています。自分で勉強するのと同じ順序で提示します。最後にわかったことがそのまま記憶に残るやり方です。学習の目的や概要を先に述べません。何を学んでいるのか、そして何を学んだのかを、やっていくうちに考えていて、わかってしまうという順序でこのテキストを進みます。

■ 問題の受け止め方から、問題の答え(応え)方、その間の時間への対応に到るまで、TOEIC® テストの全過程に解説・説明・練習をつけました。

テキストとしてはあまり全過程を扱うということはしてきませんでした。このテキストでは、TOEIC テストを全過程において扱う、それは、実際のコミュニケーションの全過程に触れるのと同じことだとして、くどいほど全体性と細部との関連で全部を扱っています。それほどのことをしなければ、TOEIC テストはそう気軽に受験できるものではありません。

■ TOEIC® テストの全体性を見失わないように配慮しています。

当該の PART だけをやっているとき全体との関連性が見えなくなってしまいます。深く入り込むことは大切ですが、「辺りの風景を見ずに闇雲には果たして？」と首をかしげてしまいます。TOEIC テストに慣れるためには、全体をしっかり把握できることも必要な力です。

■ TOEIC® テストのための基礎体力も養う方向性をつけられるようにして、このテキストの半分のユニットを割いています。

例を出しましょう。ピッチャーがその場にもっとも適応する球を自分と周りの要求に応じて正確に投げようとするなら、まず、基礎体力としっかりした腰のすわりがなくては不可能です。TOEIC テストも同じです。TOEIC テストに到るまでに、できなくてはならないことがいくつかあります。それらを抜きに、いきなり TOEIC テストを受験するのは無理というものです。(本書の使い方)で詳述しますが、この部分は暗黙の了解として、「もう身についているはずだから」ということで従来のテキストでは扱わないことがあります。しかし、このテキストでは、斬新な切り込み方で、ややもすると退屈になりがちな基礎体力の養成を図ります。

本書の使い方

本書は以下の構成と使い方から成り立っています。それぞれをよく理解してください。TOEIC® テストを通してのコミュニケーションの勉強はもう始まっています。

■ Units の構成と内容

— 奇数 units

TOEIC テストそのものを扱います。問題の提示の仕方、問題に対応して答えるまでの時間との対応の仕方、提示から解答までにはどのようなプロセスがあり、それにいちいちどう対応するかなど、きめ細かく、あなたの学習の順序にしたがって、問題に答え（応え）ながら学んでいきます。そのようにして実際のコミュニケーションもなされるとして考えてください。でなければ、TOEIC テストは、the Test Of English for International Communication だとして銘を打つ資格をなくしてしまいます。TOEIC テストのスコアであなたの英語力が示されるものではなく、あなたの現在の英語力をスコアに反映させるのです。“どれほどのことが実際にできる可能性があるか？” それを見るのです。

— 偶数 units

TOEIC テストを受験するための基礎体力となる力を身につけるように、項目を立てて練習していきます。こうした基礎体力は、一見、TOEIC テストには関係なさそうですが、このテキストではすべて関係づけられています。そう考えると、TOEIC テスト用の英語があるわけではないのです。広く言えば、あなたの英語力の一部に TOEIC テストにも対応できる部分があるということです。

ここで、もう1つ大切な項目があります。それは、Mini Test です。TOEIC テストをいきなり受験すると、あるいは生かじりで受験すると、木を見て森を見ずに陥りがちです。なぜなら、ハイスコアさえ確保すればよいことが多いからです。そうではなく、スコアにあなたの英語力を反映させるのなら、全体が見えなくてはなりません。深く深く1つの PART を追究しながら、横並びの PARTS を全体性の中で俯瞰できるわけです。

また、カリキュラムによって異なりますが、**こここの units は課題として用いられる場合もあります**。損したなど決して思わないでください。〈本書の特色〉にも書いたように、自学自習、自律学習にも用いることができるように、このテキストは記述され、作られているから不安はありません。教室の指導はなくても、いま、何をやろうとしているかの自覚を持ってのぞんでください。ページをめくる順にやっていけば、ちゃんと1人でもできるようになっています。指導者によってはその自習が成績に反映するかもしれません。

■ 奇数 units の構成と内容

— NOW HERE WE GO: Tips and Tactics

時間の対処の仕方を学習します。TOEIC テストは所要時間 120 分のうち、1分たりとも時間との戦いの手をゆるめることはできません。それだけ時間的に詰まったテストですから、時間を上手に使うことに慣れる練習をしておく必要があります。「即時的なコミュニケーション」の練習だとして大事にしてください。

— TRY IT OUT

当該の PART の問題はいかなる問題か、時間への対処の仕方が終わったら、だいたいの全貌がつかめますから、まずは腕試しに実際に問題へぶつかってみましょう。ここでは問題の指示 (Directions) をと

ばしています。いきなり、一定量をどかんとやってもらいたいからなのです。このように、早速、練習を行います。これ以後は、練習(問題)によって学ぶことばかりです。

—LEARN BY PRACTICE

細かい問題の対処の仕方、あなたのあるべき英語の姿、そうしたことを練習によって学ぶ場です。面倒臭がらずにやってください。そのとき、自分はいま、何をやらされているのかが、見当がつくようになってください。自分の学習内容がわからなければ学習は成り立ちません。

1. Improve Your Performance

あなたの英語の力を TOEIC テストに即して養成する場です。英語の何をどう学んでいいのか、そうしたら、どんなコミュニケーションに使えるかについて、やはり、練習問題によって力を蓄えていきます。「……について」と言いましたが、そうしたことを考えつけれられるようになるのが、学習なのです。あなたの自発性にかかっています。

2. Steps to Success

あなたの英語力を使って、どう効率的に問題に対応できるかを学習する場です。それを 4 steps に分けて学びます。段階ごとに何をすればコミュニケーションは成立するのかをよく考えてください。ここでも練習をしながら学んでいきますから、ぼんやりしないでください。いつも、「何をやっているのか」と問いかけてください。

—STRATEGY REVIEW

これまでやってきたことをごく短くまとめます。自分がやってきたことが、このまとめと合うかどうか楽しみですね。題して『戦略を振り返る』。

—NOW YOU TRY

やっと、本番が来ました。実際の TOEIC テストに出るだけの当該 PART の問題数を実践します。ここで得た成果を次はもっとよくするために、PART ごとの目標値を決めてください。何パーセント正解を得たかなど。この目標決めは大切なプロセスです。ハイスコアのためかも知れないのですが、英語実践によって、どれだけの英語力を蓄えたかを比較してみることもの方がもっと大切です。また、テキストで学習したことを生かしていたか、それを確認することも必要です。新しいことを学ぶのだから、それで成果がなければ、どこで、学び損ねたか、学び損ねたところまで戻って、再び学習することがよいと思います。

■ 偶数 units の構成と内容

—UNDERSTANDING DIFFERENT ACCENTS (最初の2units)

TOEIC テストには4つの訛りが用いられます。どの国の訛りが正統な英語であるとは言えません。それぞれに偏りがありますが、音の作り方は原則として同じです。それにヴァリエーションがついていると考えてください。自分ではその訛りが真似できなくても、識別できるようになるのが望ましいのです。訛りの種類は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダです。

—BUILD UP YOUR VOCABULARY

TOEIC テストでは、約 11000 ~ 12000 語が用いられると言われています。しかし、その 90% が基本語で、残り 10% は一般的に言う“むずかしい単語”です。すると、むずかしい単語は 1000 語くらい、その 1000 語をいまあなたの語彙力の上積みすればよいことになります。1000 語は自分で“使える単語”にしてください(使えるというのは、覚えることを前提にしています。覚えるだけなら前提になるのは忘れ

ないということですから、使えるようになるまでというのがいかに大変か)。では、残りの基本語から出題はないかということ、熟語や句動詞になって出題されます。とりわけ、基本動詞と前置詞(副詞)の組み合わせは、すっかり意味が変わりますから、新しい単語と同じです。このようなところを TOEIC テストはねらって、あなたの語彙力にチャレンジしてくるでしょう。

—GRAMMAR

本文中でも繰り返し述べていますが、TOEIC テストは、基礎の文法を学べば、十分に対応できます。TOEIC テストだからそうだということではなく、日常のコミュニケーションは基礎の文法を駆使すれば、たいていの場において十分だということです。ただし、文法はルールですから、ルール破りをすると端正な英語にはなりません。その分だけ、通じにくくなることは確かです。基礎の文法は項目がそうたくさんになるものではありません。文法は基礎固めに勉強する価値があります。

—AN APPROACH TO SPEED READING (ACCENTS に続く残りの 5 units)

「読み」(Reading) を軽く見ていたら、TOEIC テストでは失敗します。とりわけ読みはどこにでも出てくるので、しっかりと基礎の基礎として身につけるスキルだと考えてください。読みは読むことであって、和訳を要求するものではありません。読みは伝える内容を汲み取る作業です。読むことは鑑賞するという楽しみの側面があります。しかし、仕事や人間関係で情報を鑑賞することは稀です。言葉が伝える内容を正しく情報としてキャッチできるかが「読む力」として TOEIC テストでは要求されます。繰り返しますが、TOEIC テストは社会生活を反映したテストです。ということは、もともとのものが、必要とする情報を含んだ文章であるということです。文字になった情報の汲み取りというコミュニケーション形態が「読み」なのです。このテキストではどう読み取るかの基本を、それも時間という枠決めをして練習することになります。ここでも、練習の連続です。

TOEIC テストでは、Reading は PART 5 からと言いながら、実際は、PART 3 から始まります。そして、時間と競争しながら読まなければなりません。そのためには、「速読」をしなければなりません。きっとあなたは、そうした読みの訓練をしたことがないのではないのでしょうか。ここで少しばかり、練習を通して慣れてください。

—MINI TEST

これは、偶数 units では特殊な場です。上の4つの項目からは切り離して考えてください。

TOEIC テストの問題配置 (PARTS) は実に流れよくなされています。その流れをしっかりとつかんでおく必要があります。それは、テスト受験でのエネルギー配分にもつながるかもしれません。また、そうした配分は、仕事のエネルギー配分と似ているかもしれません。各 PART の特徴をよくつかんで、コミュニケーション形態の流れを頭の中に入れてください。PARTS という木ばかりを見るのではなく、テストという森を見るのです。

未習の PARTS には、問題に tip (ヒント類) がつけられています。全体の特徴については、冒頭に説明があります。この Mini Test をやることによって未習の PARTS の予習にもなり、いずれその PARTS を学習することになったとき、すでに、PARTS に関する知識が相当身につけていると思います。

Contents

はじめに	iii
本書の特色	v
本書の使い方	vi
Unit 1	PART 1 Photographs 1 (写真描写問題) 1
Unit 2	PART 1 Photographs 2 (写真描写問題) 13
Unit 3	PART 2 Question-Response 1 (応答問題) 24
Unit 4	PART 2 Question-Response 2 (応答問題) 35
Unit 5	PART 3 Conversations 1 (会話問題) 46
Unit 6	PART 3 Conversations 2 (会話問題) 60
Unit 7	PART 4 Short Talks 1 (説明文問題) 72
Unit 8	PART 4 Short Talks 2 (説明文問題) 87
Unit 9	PART 5 Incomplete Sentences 1 (短文穴埋め問題) 101
Unit 10	PART 5 Incomplete Sentences 2 (短文穴埋め問題) 113
Unit 11	PART 6 Text Completion 1 (長文穴埋め問題) 128
Unit 12	PART 6 Text Completion 2 (長文穴埋め問題) 137
Unit 13	PART 7 Reading Comprehension 1 (読解問題) 150
Unit 14	PART 7 Reading Comprehension 2 (読解問題) 186

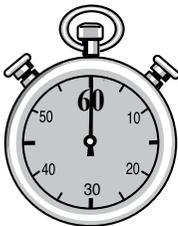
PARTS 1 & 2 は Listening Test のウォーミングアップと言えますが、以下の特徴があります。

- 全体の流れが他の Listening PARTS に比べるとゆっくりしていて、英語もゆっくり読まれる。
- PART 1 では、7-8 語、PART 2 では、10 語を上回らない短い文からほぼ成り立っている。
- 4 つのアクセント (米・加・英・豪) が用いられている (⇒ 4 つの違いを知る必要がある)。

あわてず、緊張せず、日頃から耳を澄ませて取り組んでください。

NOW HERE WE GO : Tips and Tactics

約 60 秒



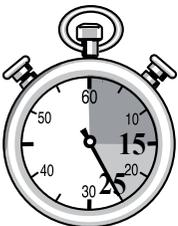
Directions (指示) と問題例・その解答

☞ “予習” (preview) のための大切な時間

- Directions が読まれている間に、Test Book 1 ページに 2 枚ずつ提示されている写真を問題の焦点はどこになるかを予想しながら一通り目を通す。
- Directions の音声が終わりに近くなったら、初めの 2 枚に戻って、その 2 枚の写真にあるものを見逃さないようにポイントを予想する。
- これから流れる 10 枚の写真のコメント文 (描写文) の英語の音声に集中する。

問題開始

約 15-25 秒



問題提示 (コメント文が流れる) と解答時間

☞ 聞くことに集中する時間 (しばしば途中で解答が得られる)

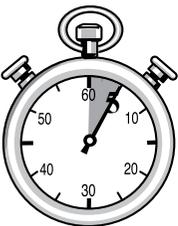
- 目は〈写真〉に、耳は〈コメント文〉に集中する。
- 消去法を用いながらコメント文を聞く。

「消去法」とはここでは、解答記入まで頭の中で……

「明らかに正しい」と思うものには○をつけて記憶に残しておく。
「明らかに間違っている」と思うものには×をつけて排除して考慮に入れない。

「不確か、よくわからない、自信がない」と思うものには△をつけて考慮の対象にする。

5 秒



答えを選択し、解答を ANSWER SHEET に記入する

☞ 次の問題へ移る余白の時間、この自由時間を“予習”にあてる

- (D) のコメント文の終了とともに、消去法で得た解答をマークする。
- ○と△の間で迷うときには、悩まずにもっとも正解に近いと判断する解答を選ぶ。気持ちの切りかえが大切。
- この 5 秒はできるだけ、次の写真の予習 (preview) に用いて、問題のポイントを予想する。

次の問題へ …… 前の問題にこだわらずに気持ちを切り替えて次に取り組む。
必ず、問題のポイントを予想してコメント文に備える。

時間配分と解答要領を学習したら、まず、実践。やってみて、どこが正しかったか、またどこでどう間違えたのかは、LEARN BY PRACTICE で解明しましょう。ここで間違えることはとてもよいことです。それだけ学ぶチャンスが増えるからです。ここでは Directions (指示) は省略します。

1.



(A) (B) (C) (D)

2.



(A) (B) (C) (D)

3.



(A) (B) (C) (D)

4.



(A) (B) (C) (D)

5.



(A) (B) (C) (D)

6.



(A) (B) (C) (D)

LEARN BY PRACTICE

TRY IT OUT にある 6 問の答え合わせをしましょう。正解・不正解の理由はこれから行う練習の中に大部分が隠されています。それをここでの練習で見だせたら、あなたは確実に学習したことになります。

ここでは 2 つのセクションに分けて、写真描写問題に特有な「問題のありか」(これは、あなたの強みにも弱みにもなるところです) を練習問題に接しながら学んでいきます。

1 Improve Your Performance

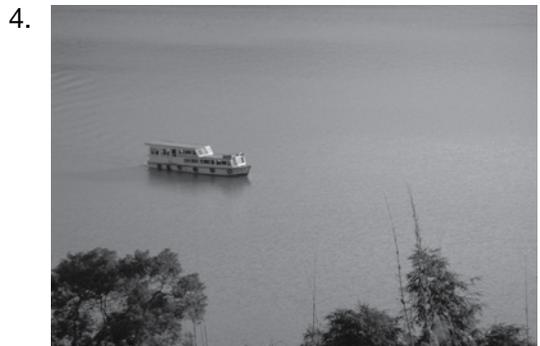
このセクションでは、PART 1 にある特有な“仕掛け”(これを **distractor** 〈注意をそらすもの〉と呼びます) を学びます。わざとあなたの注意をそらすものです。ですから、流れてくる音をぼんやりと聞いていたら、あっさり仕掛けにひっかかってしまいます。

まず、TRY IT OUT の 6 問から 4 問選びます。下の 4 つの点に関してスクリプトをもとに答えてみてください。



- (A) She's taking something to a customer.
- (B) She's standing at the reception desk.
- (C) She's about to send a fax.
- (D) She's talking on the phone.

..... 正解
taking (A) - *talking* (D) 似通った音
standing (B) キーワードの誤り
send a fax (C) 解釈の誤り



- (A) The tourists are swimming in the lake.
- (B) There's a boat on the water.
- (C) It's a very large snake.
- (D) There are some trees under the water.

..... 正解
..... 似通った音
..... キーワードの誤り
..... 解釈の誤り



- (A) He's examining a card in the garage.
- (B) He's trying to repair the car door.
- (C) He's driving the car into the repair shop.
- (D) He's fixing a tire on the car.

..... 正解
 似通った音
 キーワードの誤り
 解釈の誤り



- (A) She's closing the store.
- (B) She's cleaning the window.
- (C) She's sweeping the floor.
- (D) She's looking at the door.

..... 正解
 似通った音
 キーワードの誤り
 解釈の誤り

ここで求めた distractors は 3 種類でした。1 の問題をまとめると以下ようになります。

distractorsのタイプ	誤ったコメント文	理由
似通った音	(A) She's taking something to a customer.	taking という言葉が、talking (D) に聞こえるから。
キーワードの誤り	(B) She's standing at the reception desk.	女性は机に sitting なのであって、机のところに standing なのではない。
解釈 (視点) の誤り	(C) She's about to send a fax.	女性がファックスを送るかどうかかわからない。その証拠がない。

distractors は大別すると上のように、3 種類ありますが、もっとくわしく説明しましょう。

① 似通った音を持つ (用いられる 4 つのアクセントの特徴を知っていることも大切 (Unit 2))

- よく似た音 walk / work, writing / biting など
- 同じ音が含まれ意味が異なる hire / higher, classroom / bedroom など
- 同じ音で用法や意味が異なる to cash the check / to check the cash など

② 写真を表すキーワードが間違っている

- She's sitting. であるのに She's standing. とする。

③ 写真の解釈に間違いがある

- 事実 (fact) ではなく、もっともらしく根拠のない推測 (assumption) を言う。
- 視点を一般に予想するポイントからはぐらかして、背景へ、別の物の位置へ、局所的な表情へ、別人へ向けさせる。
- 特定の呼び方を総称的な呼び方に言い換える (chair を furniture へ、gift を object へなど)。

次の A、B、C の写真に、それぞれ 6 つのコメント文がついています。よく聞いて、A：正・誤 (Correct / Incorrect)、B：真・偽 (True / False)、C：事実・推測 (Fact / Assumption)、のいずれか、チェックマーク (✓) を入れてください。大切なことは、正・誤か、真・偽か、事実・推測かなどを決めるとき、「なぜ？」といつも自分に問いかけることです。

A. 1 は The woman is holding a copy. と聞こえてきます。

- 1. Correct Incorrect
- 2. Correct Incorrect
- 3. Correct Incorrect
- 4. Correct Incorrect
- 5. Correct Incorrect
- 6. Correct Incorrect

CD SelfStudy 03



コメント文の正・誤は何によって決めましたか？ 1 と言えば**似通った音 (coffee-copy)** が distractor になっていることです。

B. 全部 1 人で答えてください。

- 1. True False
- 2. True False
- 3. True False
- 4. True False
- 5. True False
- 6. True False

CD SelfStudy 04



真・偽の根拠は何によって決めましたか？ **キーワード**の取り違えをすると、写真はまったく別物になります。

C. 1 は They're about to catch a plane. と聞こえてきます。

- 1. Fact Assumption
- 2. Fact Assumption
- 3. Fact Assumption
- 4. Fact Assumption
- 5. Fact Assumption
- 6. Fact Assumption

CD SelfStudy 05



せっかくの写真も**解釈**が間違ってしまうととんでもない写真になってしまいます。

2 Steps to Success

ここでは、順を追って、効率的に解答に到るまでの作業を練習します。

1.

STEP 1 // 下の写真について問いに答える。



Where is this person?
.....

What is he doing?
.....

What does he look like?
.....

STEP 2 // 写真に映っている物を探し出す。

menu, teapot, picture, bowls, tissue, table 他に見えるもの _____

STEP 3 // コメント文を聞きながら、排除する (eliminate) か考慮する (consider) かを判断する。

(A) [] eliminate [] consider (C) [] eliminate [] consider

(B) [] eliminate [] consider (D) [] eliminate [] consider



STEP 4 // 解答を (D) のコメント文が終わるまでに決め、迷わずに解答をマークする。

(A) (B) (C) (D)

2.

STEP 1 // 下の写真について問いに答える。



Where is this?
.....

What is happening?
.....

Who are those people?
.....

STEP 2 // 写真に映っている物を探し出す。

mirror, poster, hair dryer, towel, apron, brush 他に見えるもの _____

STEP 3 // コメント文を聞きながら、排除するか考慮するかを判断する。

(A) [] eliminate [] consider (C) [] eliminate [] consider

(B) [] eliminate [] consider (D) [] eliminate [] consider



STEP 4 // 解答を (D) のコメント文が終わるまでに決め、迷わずに解答をマークする。

(A) (B) (C) (D)

～これまでの作業をまとめましょう～

Step 1 と Step 2 は写真の予習をしてコメント文を予想する作業です。

Step 1

全体として何の写真かをさっと把握して、写真から読み取れる情景をつかむ。

そのために、次の3点を自分に問いかける。

- 場所はどこか (where)
- 何をしているのか、何が起きているのか、何があるのか (what)
- その人物は誰か、主体は何か (who)

Step 2

目立つ物に注意する。その物と起きている事柄との関係を把握する。

ここまでで重要なこと!

「時間のゆとり」をできるだけ作り、予習 (preview) をする。

予習のとき、①何の写真か? (できればコメント文を予想) ②人間関係は? (旅行者、同僚、乗客など) を考える。

Step 3 と Step 4 はコメント文を聞きながらの作業です。distractors を回避しながら消去法を用います。

Step 3

消去法を用いて「明らかに正しい」「確信が持てない、迷う」は考慮に入れ、「明らかに間違っている」は排除していく。

- 写真に関係のあるキーワードを聞き逃さない
- 似通った音を持つ語 (distractors) に注意する
- 誤った解釈 (distractors) にひっかからない

Step 4

解答 解答を ANSWER SHEET に書き込んだら、すぐに次の問題を予習する。

STRATEGY REVIEW

直前の予習 (preview) を怠らない。写真を見ながら、Where?/What?/Who? をいつも念頭に置いておく。重要だと思われる箇所を想定する。

- 聞くことに疲れたり、飽きたりしないで、コメント文を寸分たりとも聞き逃さない。1文せいぜい7-8語程度の短い文が、比較的ゆっくり発話される。
- 聞きながら「明らかな間違い」であるコメント文を排除 (eliminate) していく。
- 聞きながら、distractors を含むコメント文を排除する。
- 答えを確定できなければ、悩まないで、自分の信じる答えを解答とする。
- 終わったら、次の問題のコメント文が朗読される前に写真の予習 (preview) をしておく。

NOW YOU TRY

ここでは、PART 1 のフルテストをして、学習効果を確認めます。これまで学んできた事柄をよく思い起こしながら、問題に取り組んでください。

下の Directions (指示) は、実際の TOEIC® テストに近い形のもので、Directions はテストによって変わることはないので、テストのとき改めて耳を傾けないで済むよう、日頃から慣れておき、その間に問題の予習 (preview) ができるようになってください。

Directions: For each question, you will hear four statements about a photograph. Listen and select the one statement: (A), (B), (C), or (D), that best describes the picture. Then mark your answer. You will hear the statements only once.

Look at the photograph and listen to the four statements.

EXAMPLE



(A) ● (C) (D)

The best description of the picture is statement (B), "He's drawing on the board." You should mark answer choice (B).

1.



(A) (B) (C) (D)

2.



(A) (B) (C) (D)

3.



(A) (B) (C) (D)

4.



(A) (B) (C) (D)

5.



(A) (B) (C) (D)

6.



(A) (B) (C) (D)

7.



(A) (B) (C) (D)

GO ON TO THE NEXT PAGE



8.



(A) (B) (C) (D)

9.



(A) (B) (C) (D)

10.



(A) (B) (C) (D)

答え合わせが終わったら、成果を見て、次の機会に向けて何をどのようにするか、そして更なる成果をどう求めるか、次の機会への**目標を必ず設定してください。**